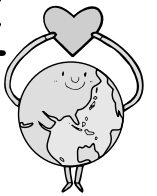


ごみの減量に役

生ごみ処理容器の

購入補助が受けられます



「ごみの減量化とリサイクルの推進を図るため、家庭から出される生ごみの自家処理容器を購入された世帯は、「生ごみ処理容器購入補助」が受けられます。

ただし、今までに補助を受けたことのある世帯は、対象になりません。

補助する容器の個数（一世帯あたり）

- 電気式……………1個まで
- 非電気式……………2個まで

補助金の申請に必要なもの

- ・領収書
- ・印鑑
- ・通帳（領収書の名前と同じ方）
- ・カタログ（購入した生ごみ処理容器が掲載されているもの）

補助金額

■電気式の場合

購入金額の2分の1、

または2万円（上限金額）

■非電気式の場合

購入金額の2分の1、

または5千円（上限金額）



電気式生ごみ処理容器

お盆の時期が近づきました

「し尿くみ取り」はお早めに…

8月1日から20日までの「し尿くみ取り」は毎年混みますので、早めに指定収集業者にお申し込みください。申し込みがお盆の前に集中した場合、お盆までに収集できないことがありますので、「ご注意ください」。

●土・日・祝祭日は、し尿くみ取りはできません。

●日ごろから便槽の量をご確認ください。

●くみ取り業者は地域により異なります。

◆住民課 生活環境交通担当

☎6578 有線☎7784

綿向雑感

日野町長 藤澤直広

夏の陽差しを受けて、田んぼで稲がすくすくと成長しています。今は稲に穂肥をふる時期。肥をふる量は葉っぱの色を見て判断します。

農家は、「稲」のことを親しみをこめて「田」と言うことがよくあります。「田が赤い（黒い）」とは稲の葉っぱの色が淡い（濃い）ことを言い、葉っぱの中の窒素成分が少ない（多い）ことを意味します。「田」と言えば「稲」というほど稲作が定着しているのだと思います。

こうした稲作の大敵のひとつが獣害です。鳥居平新田では獣害対策の一環として羊の放牧をされています。様子を見に行くと、可愛い親子の羊が2匹柵の中でゆっくりと草を食べていました。効果を期待したいと思います。

その放牧地で、子どもを抱っこされていた若いお母さんと出会いました。会話の中で、お母さんは「本郷のほうでは…」という言葉を使われました。「本郷」とは、鳥居平の「中心部」のことで新田

に対する表現です。「鳥居平本郷」という言葉は、初めて聞きました。なるほど、鳥居平での車座懇談会の場所は「鳥居平本郷会議所」と申込書に記載されていました。町外から嫁いで来られて、数年しか経たないのに「馴染んで」おられるのだなと嬉しくなりました。

ところで、車座懇談会に参加させていただいた回数が34回となりました。集落や町内会、老人会をはじめ各種団体の皆さんと膝をまじえて意見を聞かせていただいたり、町の思いをお話ししたり…。

「町長はいつもどんな仕事しているの、ハンコを押してるだけ？」 「ワシは合併に賛成やったんやけどなあ」「祭りを維持するのは大変なんやで」「自律のまちづくりで町民は何をしたらいいのや」など話題は尽きません。役場と住民の皆さんとの距離が一気に近づく気がします。

顔が見える関係っていいものだとつくづく思います。町の現状や課題について共通の認識を持ち、お互いに思いを馳せることができると関係こそ「住民と行政の協働」にふさわしいものだと思います。地域や団体・グループで、ぜひ、車座懇談会にお呼びください。